株式会社宮崎銀行
2018年3月期 決算説明資料

2018年5月22日

明日の夢 人から人へ
宮崎銀行

Copyright © 2017 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

＜ 目次 ＞

１．会社概要 ・・・ 2

２．南九州の経済環境について ・・・ 3

３．中期経営計画『お客さま成長力No.1銀行』 ・・・ 4

４．平成30年3月期　決算 ・・・ 6

５．平成31年3月期　業績予想 ・・・ 21

Copyright Ⓒ 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

１．会社概要 （平成30年3月末）

株式会社　宮崎銀行　　The Miyazaki Bank, Ltd.	
資本金	146億円
総資産	2兆9,563億円
純資産	1,455億円
預金残高	2兆4,930億円
貸出金残高	1兆9,346億円
有価証券残高	6,888億円
従業員数	1,436人
格付け（㈱日本格付研究所）	長期発行体格付「A」
店舗数	国内本支店　73 出張所　23 合計　96
グループ会社	宮銀ビジネスサービス㈱ 宮銀コンピューターサービス㈱ 宮銀リース㈱ 宮銀ベンチャーキャピタル㈱ 宮銀保証㈱ 宮銀カード㈱

本店（宮崎市）

Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

２．南九州の経済環境について

農業

キヤノン

西郷どん

日機装

Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

３．中期経営計画「お客さま成長力No.1銀行」

明日の夢 人から人へ 宮崎銀行

＜ 中期経営計画 ＞ 平成29年4月 ～ 平成32年3月（3年間）

「お客さま成長力No.1銀行」

徹底した**業務品質向上**と**収益力強化**にこだわり、変化を恐れず、
地域の未来創造に挑戦する、真の「リーディングカンパニー」への進化

＜＜ 基本方針 ＞＞

業務品質の向上
- 営業品質
- 事務品質
- ＣＳ品質

収益力の徹底強化
- 貸出金収益
- 非金利収益
- 有価証券収益

＜ 基本戦略１ ＞

金融サービス力の強化
- ●法人戦略●個人戦略●市場戦略
- ●チャネル戦略 ●ＩＴ戦略

＜ 基本戦略２ ＞

生産性の向上
- ●ＢＰＲ戦略
- （新事務改革プラン）

＜ 基本戦略３ ＞

人財力・組織力の強化
- ●人財戦略
- ●グループ戦略

みやぎん三本の矢
- 地方創生
- 事業性評価
- 女性活躍推進

- リスク管理の高度化
- CS・ESの向上
- コンプライアンスの徹底

Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

３．中期経営計画「お客さま成長力No.1銀行」

明日の夢 人から人へ 宮崎銀行

中期経営計画指標		平成30年3月期 実績	平成31年3月期 業績予想	平成32年3月期 (中計最終年度) 計画
収益性	経常利益	133億円	120億円	100億円
	ROE	6.64%	5.70%	5.00%
効率性	OHR(※1)	64.68%	68.63%	69.00%
健全性	自己資本比率	9.47%	8.30%	9.00%
成長性	総預り資産残高(※2)	28,711億円	29,750億円	30,000億円
	総貸出金残高	19,346億円	19,600億円	20,000億円

(※1) OHR ＝ 経費 ÷ コア業務粗利益（業務粗利益 － 債券関係損益）
(※2) 総預り資産残高 ＝ 預金残高 ＋ 預り資産残高

Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

４．平成30年3月期　決算

明日の夢 人から人へ 宮崎銀行

【サマリー】

（単位：億円）

	平成30年3月期	増減	平成29年3月期
経常収益　①	484.1	25.3	458.8
コア業務粗利益　②	366.9	11.3	355.6
資金利益	332.2	11.2	321.0
役務取引等利益	38.0	0.8	37.2
その他業務利益（債券関係損益除く）	▲3.2	▲0.6	▲2.6
経費　③	237.3	▲2.6	239.9
コア業務純益　（②－③）④	129.6	14.0	115.6
与信関連費用　⑤	1.9	7.9	▲6.0
貸倒引当金繰入額（▲は戻入）	▲0	6.6	▲6.6
償却債権取立益	1.4	▲0.6	2.0
有価証券に関する損益　⑥	8.8	▲0.7	9.5
債券関係損益	▲11.7	▲9.5	▲2.2
株式等関係損益	20.5	8.8	11.7
その他臨時損益　⑦	▲2.9	4.5	▲7.4
経常利益　（④－⑤＋⑥＋⑦）⑧	133.4	9.6	123.8
特別損益	▲1.7	0.3	▲2.0
税引前当期純利益	131.7	10.0	121.7
法人税等合計	37.6	10.2	27.4
当期純利益　⑨	94.1	▲0.2	94.3

2期ぶりの増収増益決算、
経常利益は過去2番目の高水準。

①経常収益	平成29年3月期比　＋25.3億円

・一般貸出金利息および株式配当金の増加で資金運用収益が増加。
・預り資産手数料およびソリューション手数料の増加で役務取引等収益が増加。
・債券および株式関係収益の増加。

②コア業務粗利益	平成29年3月期比　＋11.3億円

・資金運用収益の増加で資金利益が増加。

④コア業務純益	平成29年3月期比　＋14.0億円

・コア業務粗利益の増加に加え、物件費を中心に経費が減少。

⑧経常利益	平成29年3月期比　＋9.6億円

・与信関連費用が増加および債券関係損益が減少したものの、コア業務純益および株式関係損益が増加。

⑨当期純利益	平成29年3月期比　▲0.2億円

・法人税等の税金費用が増加。

Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

４．平成30年3月期　決算（増収増益要因）

明日の夢 人から人へ 宮崎銀行

（単位：億円）

増収要因	資金運用収益		＋11.1
	貸出金利息	一般貸出金利息	＋5.8
		公共貸出金利息	▲4.8
	有価証券利息配当金	外国証券利息を除く	＋14.1
		外国証券利息	▲4.1
	役務取引等収益		＋1.8
	その他業務収益		＋6.1
	その他経常収益		＋6.1

増収要因（経常収益）

・資金運用収益

貸出金利息　＋1.0億円
（増収要因）一般貸出金利息＋5.8億円
（減収要因）公共貸出金利息▲4.8億円

有価証券利息配当金 ＋10.0億円
（増収要因）株式配当金＋9.6億円、その他証券利息＋7.8億円
（減収要因）国債利息▲1.8億円、社債利息▲0.9億円
外国証券利息▲4.0億円
（外国債券残高の減少　前期比▲263億円）

・役務取引等収益

（増収要因）預り資産手数料＋1.0億円、ソリューション手数料＋1.9億円
（減収要因）受入雑手数料▲1.2億円

・その他業務収益

（増収要因）国債等債券売却益＋6.1億円

・その他経常収益

（増収要因）株式等売却益＋9.3億円、雑益＋3.4億円
（減収要因）貸倒引当金戻入益▲6.6億円

増益要因	コア業務純益	＋14.0
	有価証券に関する損益	▲0.7
	与信関連費用	＋7.9
	その他臨時損益	＋4.5

増益要因（経常利益）

・コア業務純益

（増益要因）資金利益＋11.2億円、経費▲2.6億円

・有価証券に関する損益

（増益要因）株式等関係損益＋8.8億円
（減益要因）債券関係損益▲9.5億円

・与信関連費用

（減益要因）不良債権処理額＋0.8億円、貸倒引当金戻入益▲6.6億円
償却債権取立益▲0.6億円

・その他臨時損益

（増益要因）金銭の信託運用損益＋1.7億円、雑益＋3.4億円

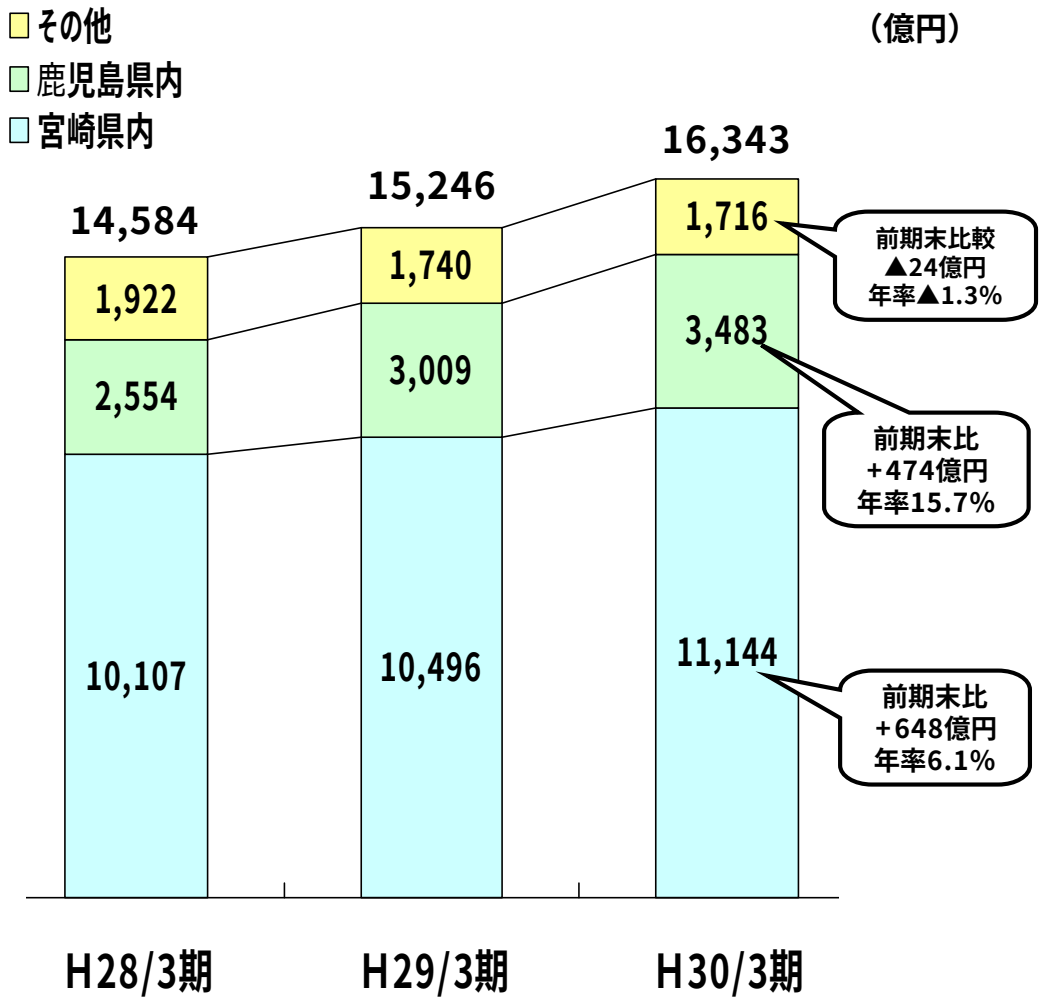
OHR	平成30年3月期	64.68%
	（前期比）	（▲2.78ポイント）

・コア業務粗利益が11.3億円増加し、経費が2.6億円減少

Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

４．平成30年3月期　決算（貸出金の状況①）

一般貸出金　地域別残高の推移



一般貸出金　地域別貸出金利息の推移

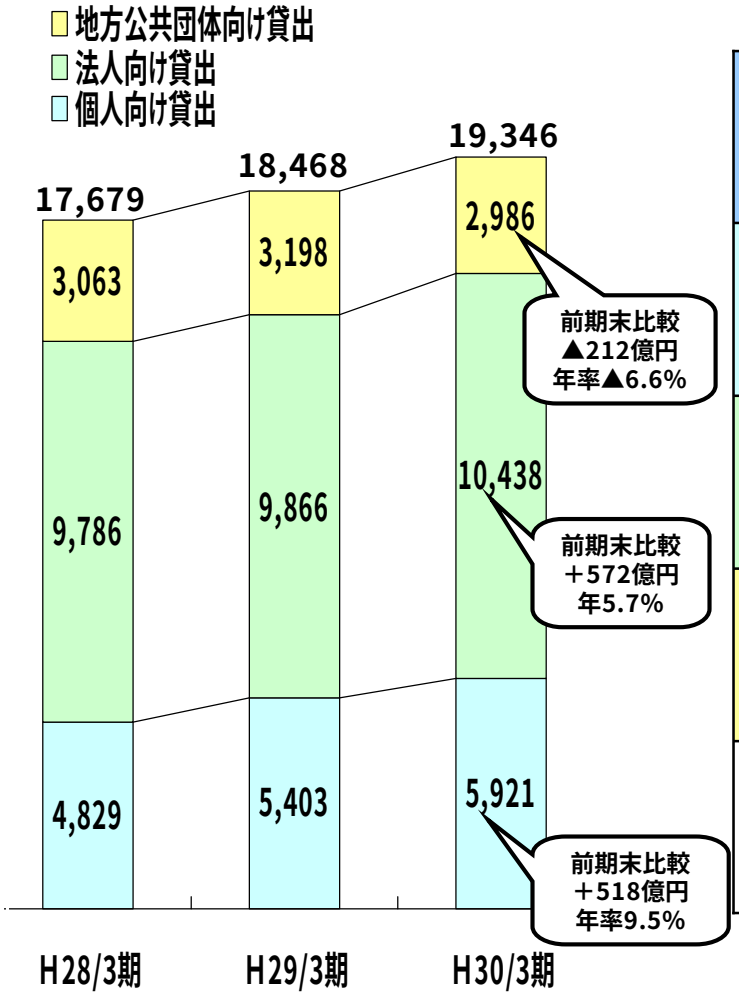
（億円）

	H29/3期	H30/3期	増減
宮崎県内	174.7	176.1	＋1.4
鹿児島県内	37.1	41.6	＋4.5
その他	12.6	12.5	▲0.1
合計	224.4	230.2	＋5.8

Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

４．平成30年3月期　決算（貸出金の状況②）

対象別貸出金残高の推移



対象別貸出金利息の推移

（億円）

	H29/3期	H30/3期	増減
個人向け貸出	99.1	103.8	＋4.7
法人向け貸出	125.4	126.5	＋1.1
地方公共団体向け貸出	26.2	21.5	▲4.7
合計	250.8	251.9	＋1.0

セグメント別残高

中小企業等貸出残高　14,729億円

住宅ローン、マイカーローンを中心とした個人向け貸出が増加し、前期末比1,231億円（年率9.1%）増加。

アグリ関連貸出残高　699億円

事業性評価、コンサルティング機能の発揮により畜産業を中心に前期末比40億円増加（年率6.1%）。

医業･介護貸出残高　1,547億円

病院･診療所の建替えや新規開業等を中心に医業向け貸出が30億円増加。介護向け貸出も15億円増加し、前期末比45億円増加。

住宅ローン貸出残高　5,328億円

宮崎･鹿児島両県における住宅市場（戸建･マンション）への推進強化。前期末比488億円（年率10.1%）増加。

消費者ローン貸出残高　501億円

各種キャンペーン、DM･WEB等のプロモーションを推進。前期末比21億円（年率4.3%）増加。

Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

４．平成30年3月期　決算　（貸出金利息の増強）

明日の夢 人から人へ 宮崎銀行

チャレンジ戦略

ミドルリスク層に対する営業スタイルの変革

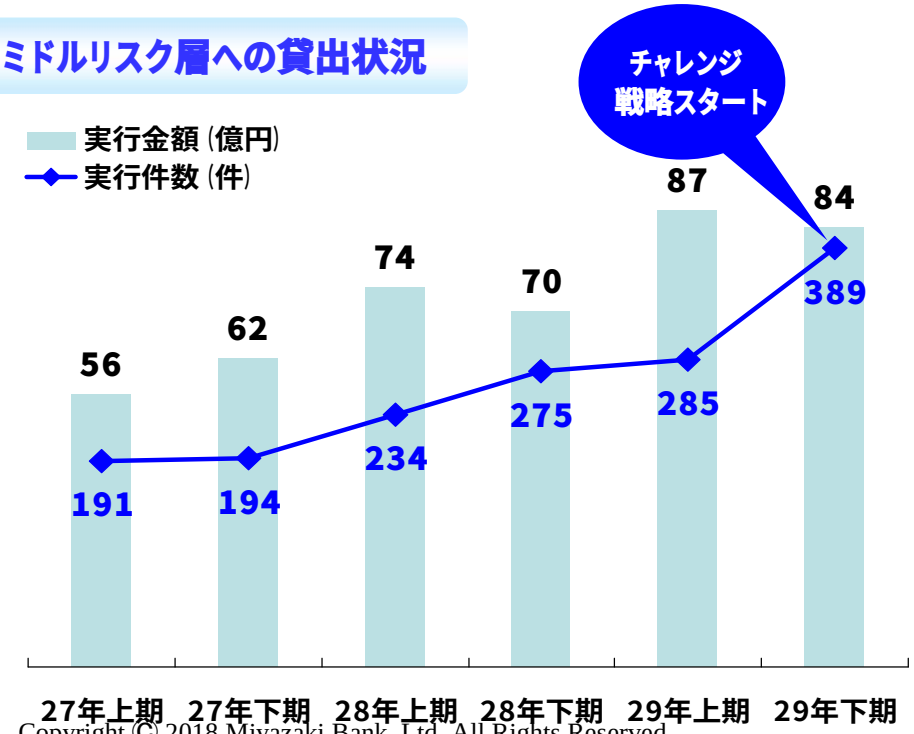
事業性評価を駆使した全方面からの支援

「共通価値の創造」

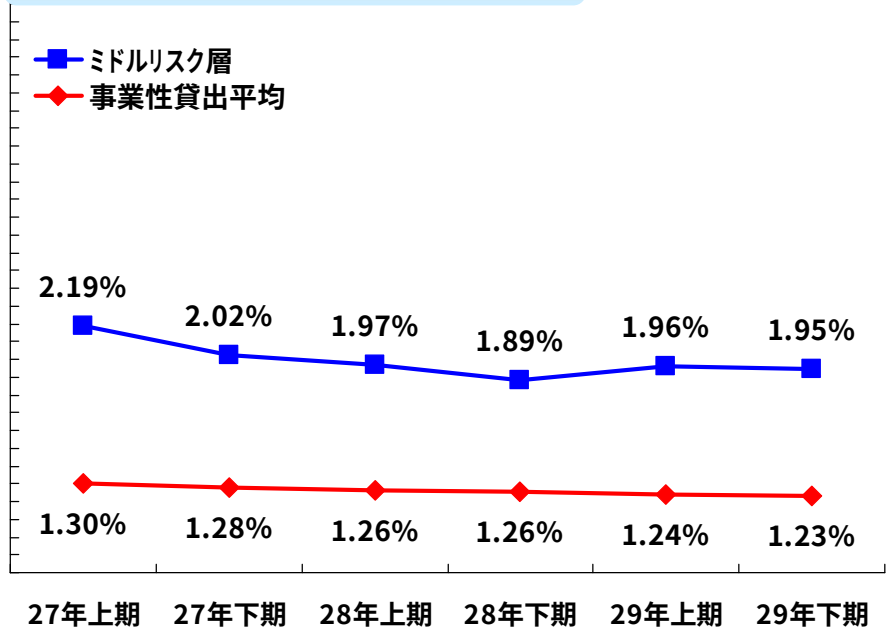
お客さまの輝く未来へ「チャレンジ」

既存・新規のミドルリスク先 → 事業性評価 → 業績改善可能性 → 必要運転資金等を前向きに対応！

ミドルリスク層への貸出状況



ミドルリスク層への新規実行金利



Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

4．平成30年3月期　決算（与信関連費用・不良債権の状況）

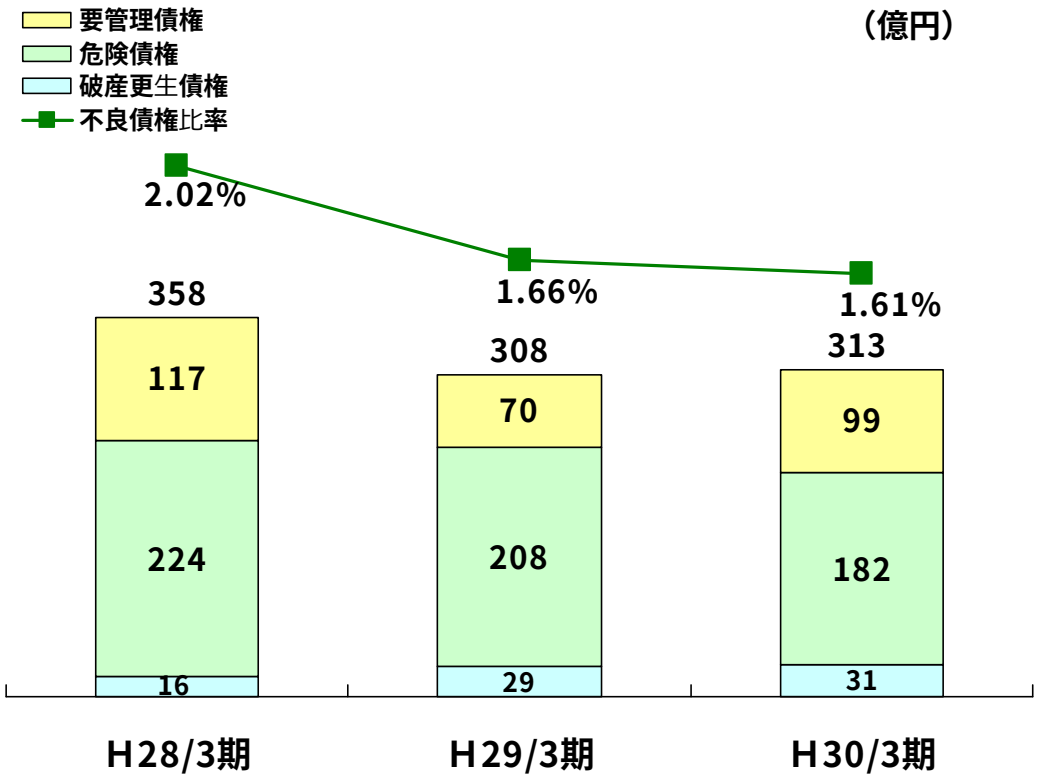
- 地元への積極的な資金供給のために貸倒引当基準を改定した結果、与信関連費用は、前期比7.9億円増加の1.9億円（貸出金平均残高の0.01%）。
- 不良債権比率は、依然として低位で推移。

与信関連費用の推移

（億円）

	H29年3月期	H30年3月期	増減	貸倒引当基準改定の影響
与信関連費用（①-②-③）	▲6.0	1.9	+7.9	+7.0
不良債権処理額①	2.6	3.4	+0.8	+5.1
貸倒引当金戻入②	6.6	0.0	▲6.6	▲1.9
償却債権取立益③	2.0	1.4	▲0.6	—

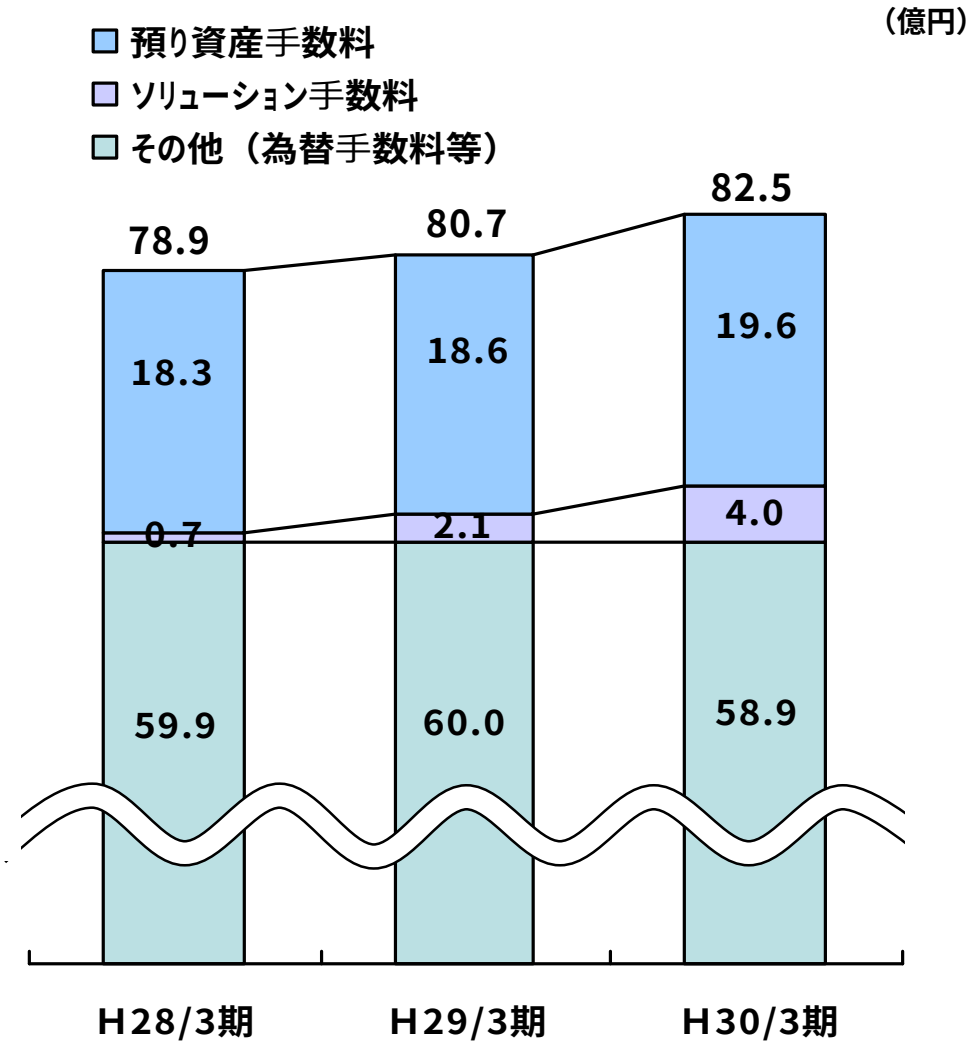
不良債権（金融再生法開示債権）残高の推移



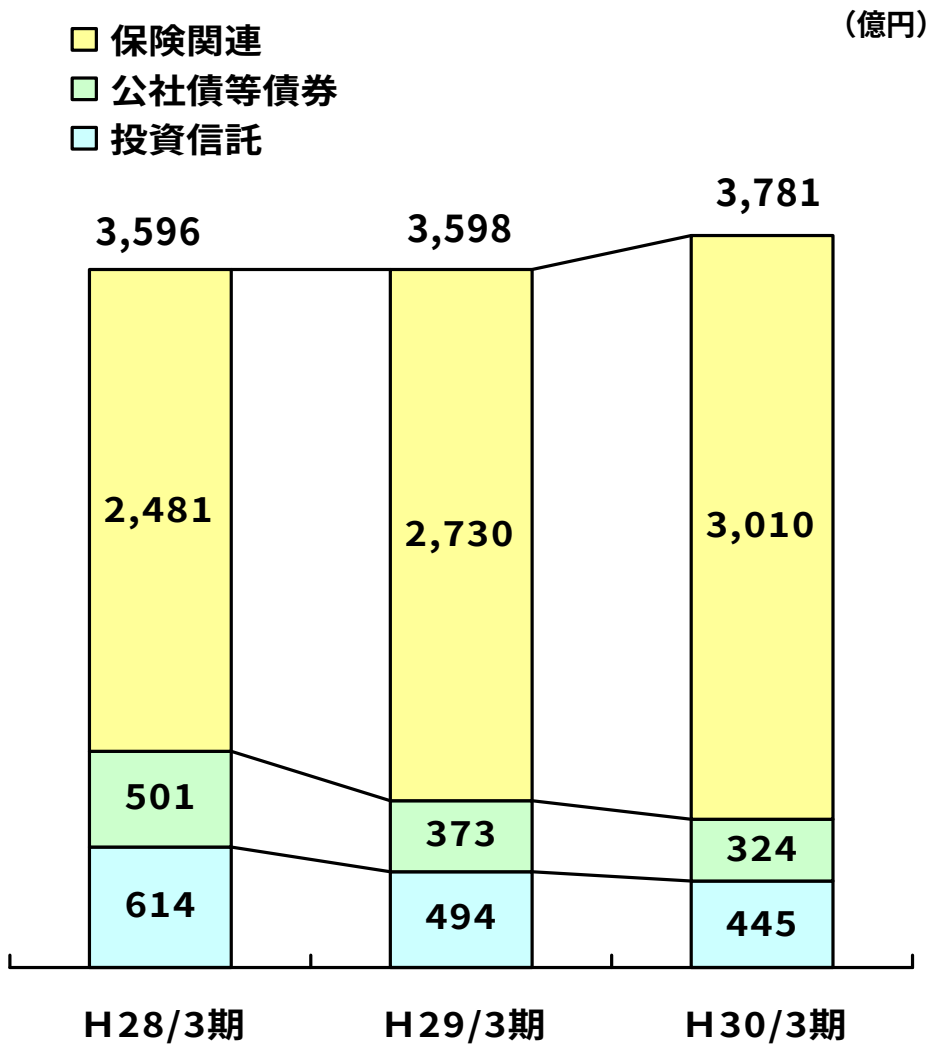
Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

4．平成30年3月期　決算（役務取引等収益の状況）

役務取引等収益の推移



預り資産残高の推移



Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

4．平成30年3月期　決算　（ソリューションの提供①）

明日の夢 人から人へ 宮崎銀行

中核企業応援プロジェクト　～　ひなたの力　～

事業者さまの成長目標や経営課題を共有し、その目標達成や課題解決を全力でサポート！
⇒　地域経済全体の発展に貢献!!

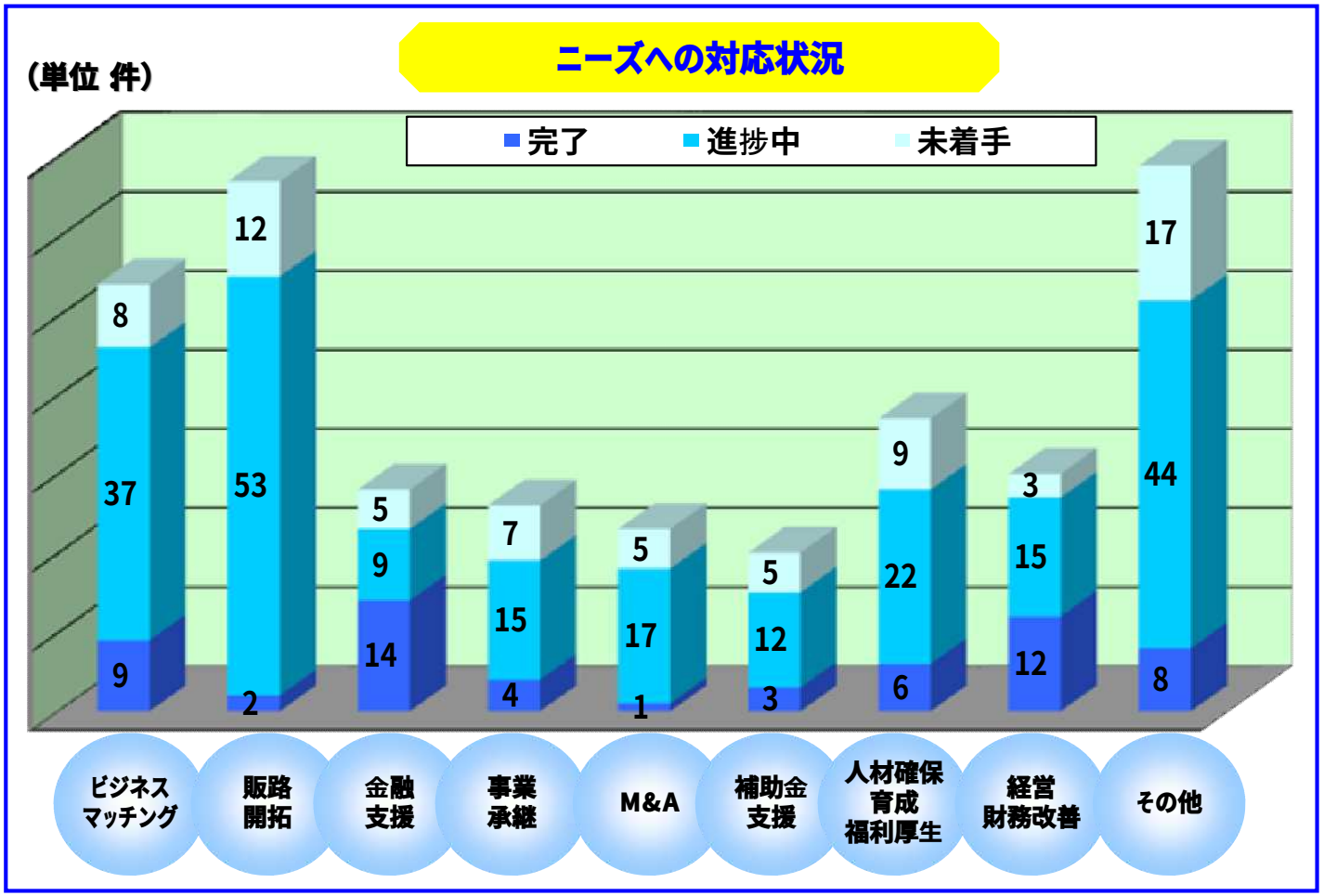
「ひなたの力」対象先
中長期的目標の設定（100社）

経営の悩みや課題、潜在的ニーズの共有

「ひなた」未来創造PLAN策定

将来のビジョンを共有し、達成に向けたロードマップを示し「夢」を共感

グローバル・地域中核企業への成長



Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

4．平成30年3月期　決算　（ソリューションの提供②）

金融仲介機能の発揮による、ソリューション提供

ビジネスマッチング

既存のマッチング提携先との連携強化および新たな
提携先の拡充により、マッチング手数料66百万円

事業承継・M＆A

セミナー開催やコンサルティング営業の強化により、
相談件数 555件 ・ 仲介手数料3.0億円
相談案件に関連する貸出実行額145億円

各種ファンド

各種ファンドの活用による、創業支援や地域活性化に
資する企業への投資

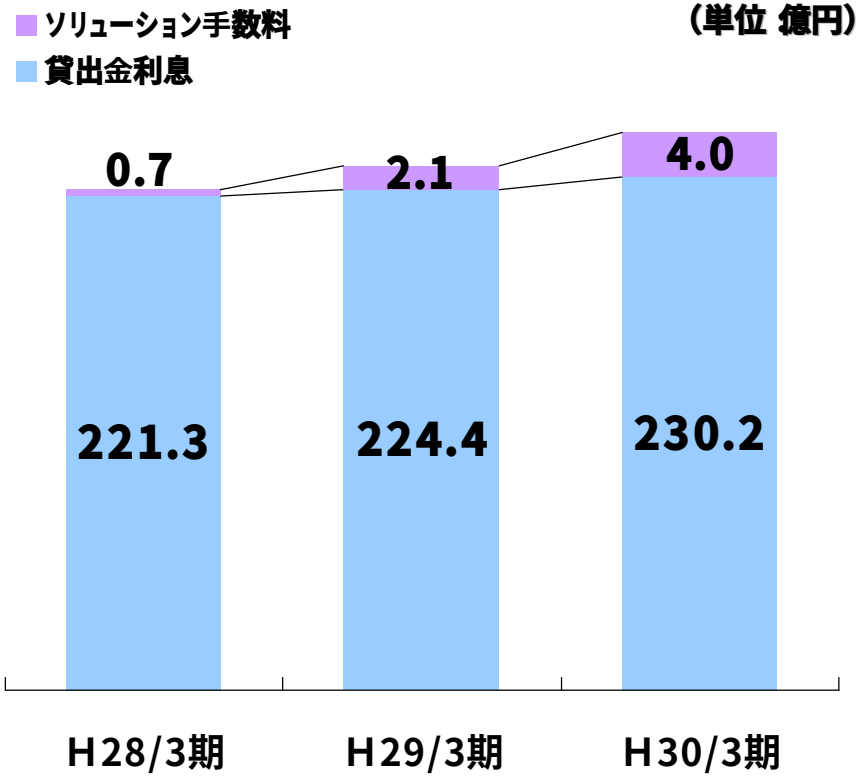
国際業務

海外使節団、各種セミナー、海外商談会の実施や、
JICA等外部提携先の拡充により、相談件数200件

その他

IoT支援
IPOサポート強化、他

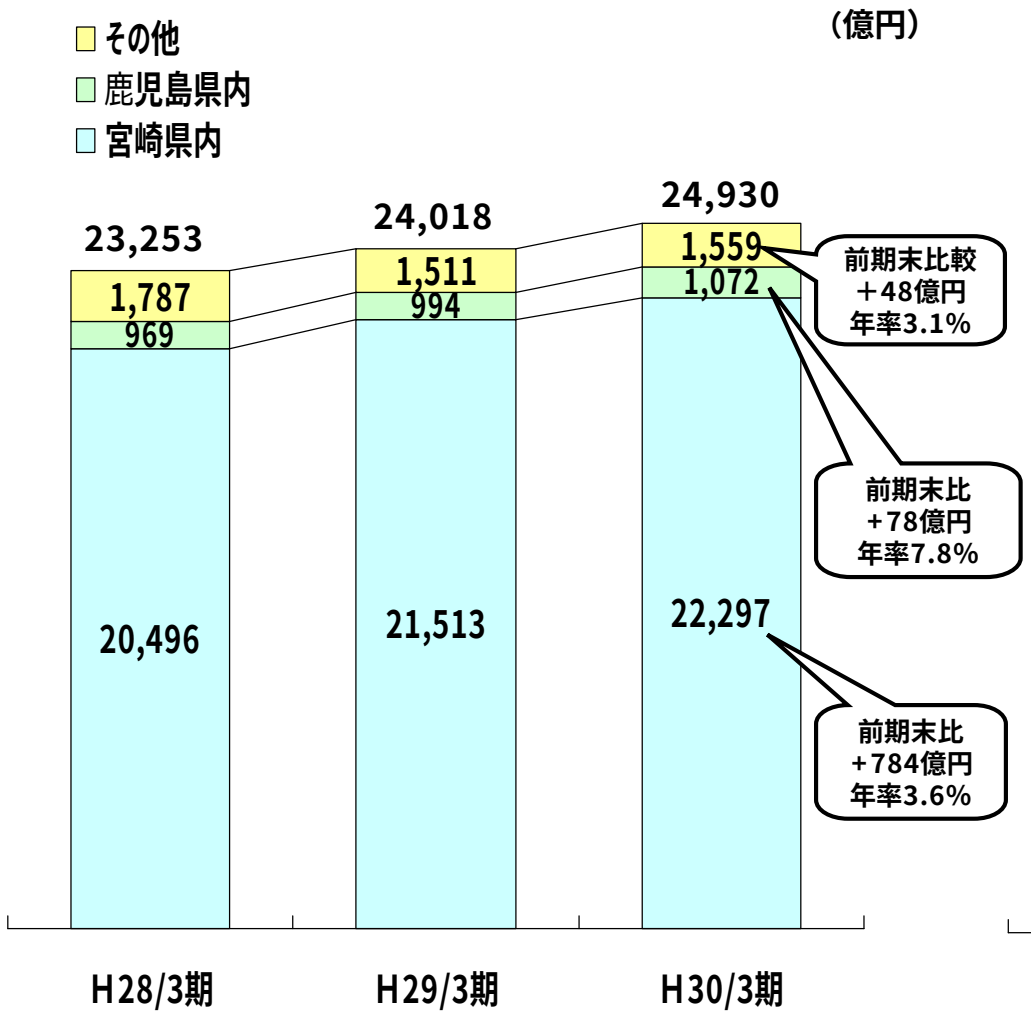
一般貸出金利息＋ソリューション手数料推移



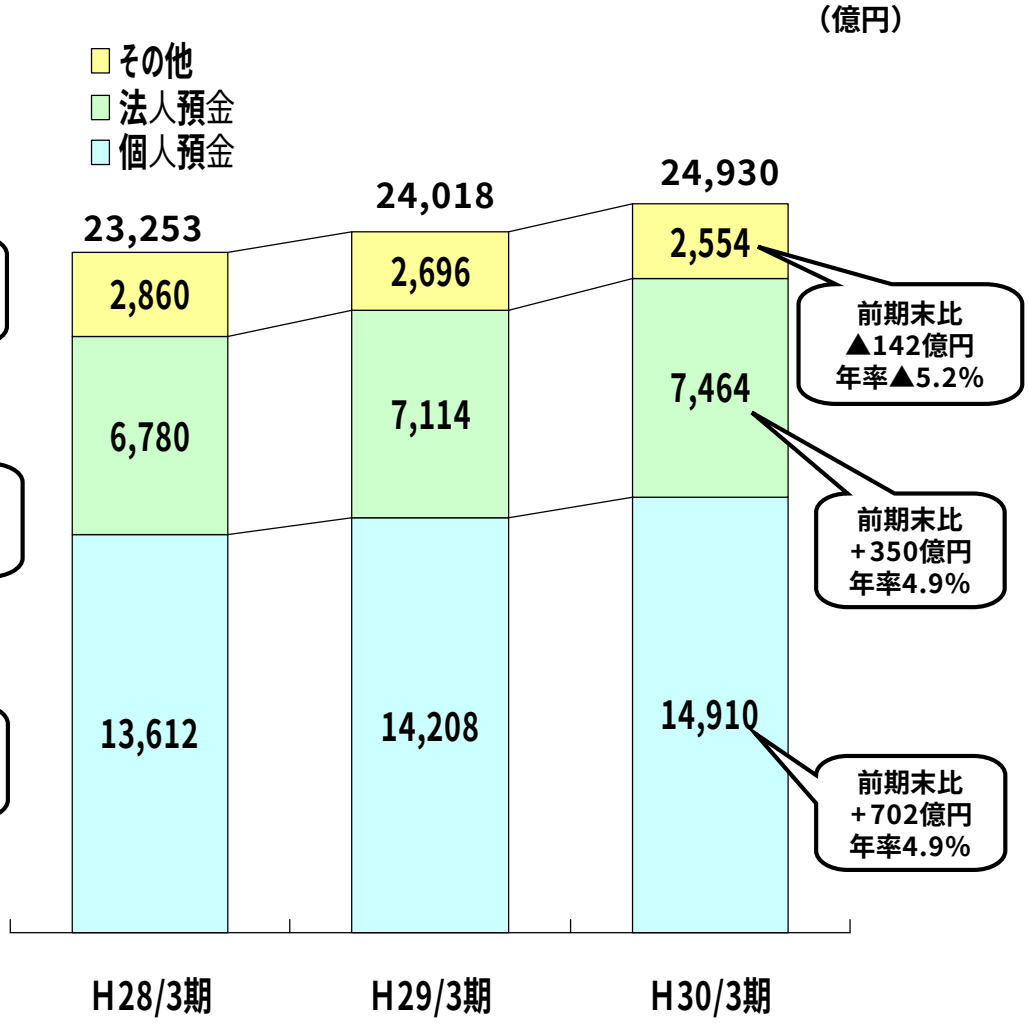
Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

4．平成30年3月期　決算　（預金の状況）

地域別残高の推移



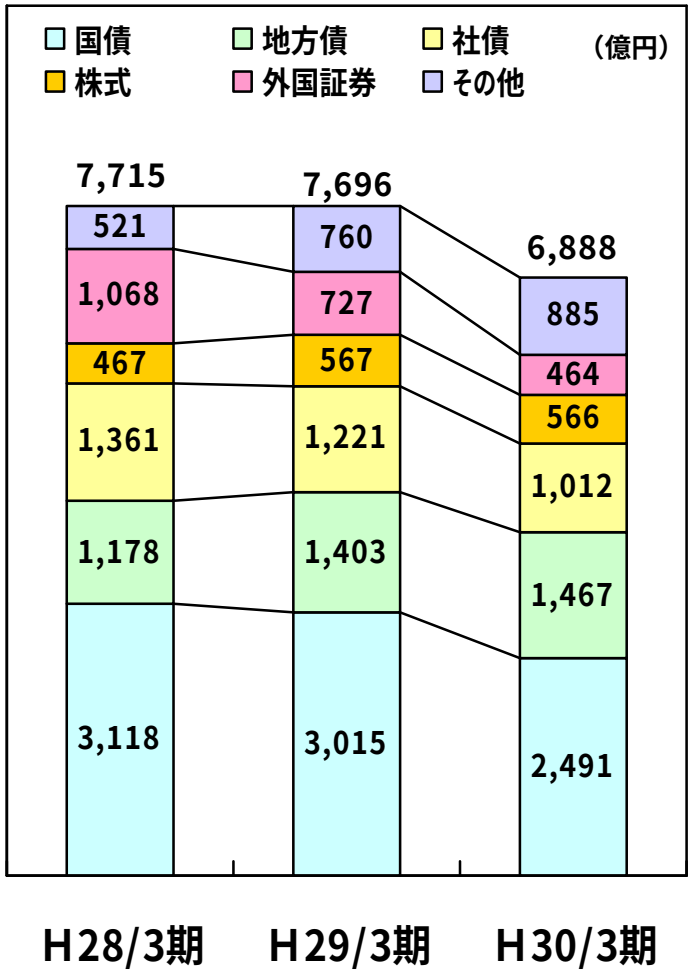
対象別残高の推移



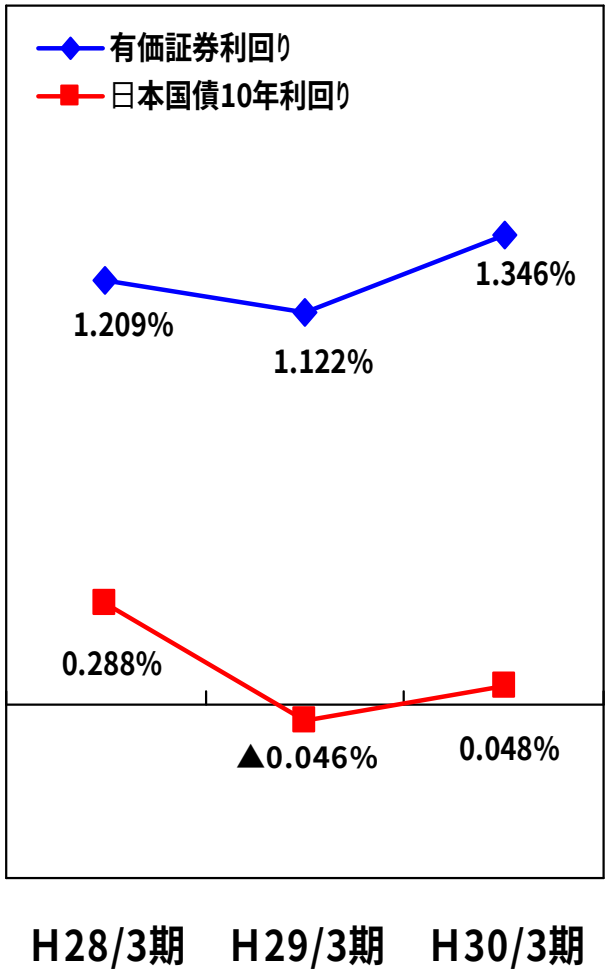
Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

４．平成30年3月期　決算　（有価証券の状況）

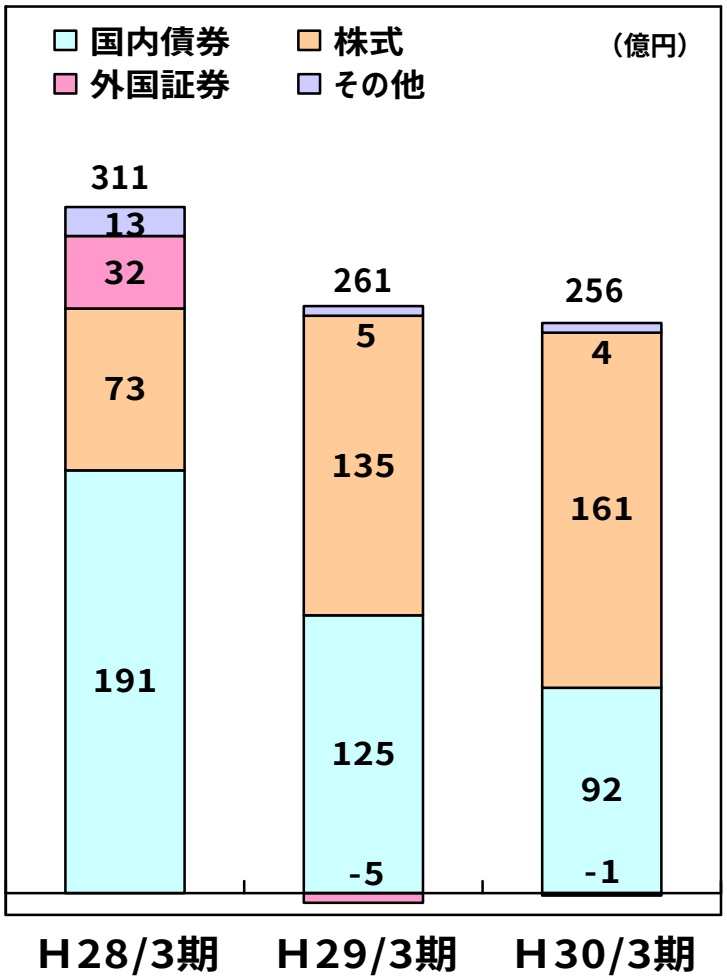
残高の推移



利回りの推移



評価損益の推移



Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

４．平成30年3月期　決算　（自己資本比率）

明日の夢 人から人へ 宮崎銀行

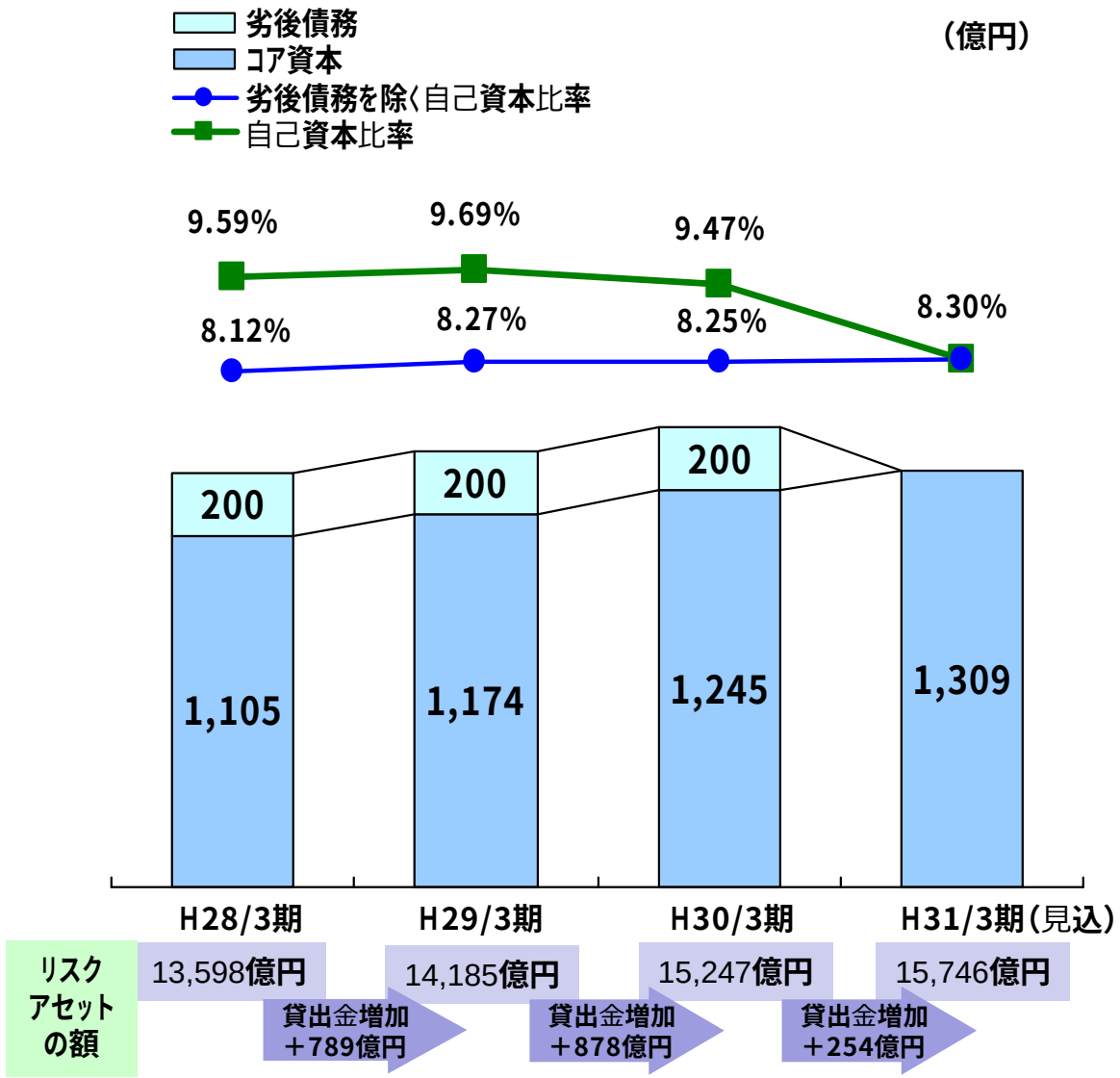
現状と今後の見通し

【自己資本比率】
9.47%（平成30年3月期）
前年比▲0.22ポイント低下

【低下要因】
・貸出金増加によるリスク・アセットの増加

【平成31年3月期の見通し】
・平成30年度中に、劣後債等の繰り上げ償還200億円により自己資本比率は８％台へ。
・非金利収益の増強等更なる利益水準の向上を図り平成32年3月期9%以上を目指す。

自己資本額および自己資本比率の推移



Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

４．平成30年3月期　決算　（株主還元）

明日の夢 人から人へ 宮崎銀行

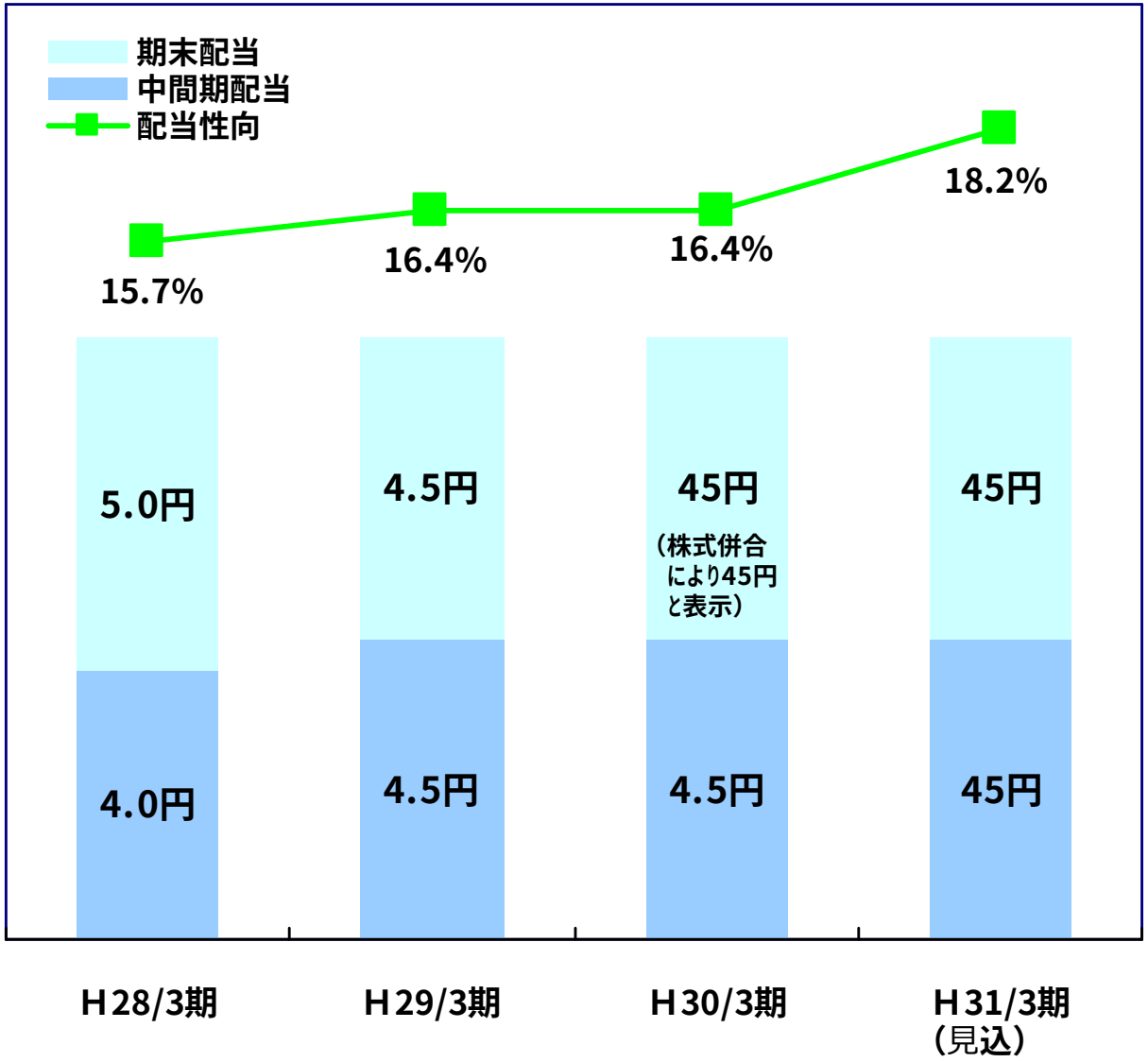
現状と今後の見通し

【配当金】
1株あたり年間90円（平成30年3月期末）の安定配当

【平成31年3月期以降の見通し】
・1株あたり中間、期末配当ともに45円を予定
・今後も安定配当を基本とし、株主の皆さまへ利益還元を図ってまいります

（平成29年10月1日に、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施。当該株式併合が29年度期初に行われたと仮定すると、普通株式1株あたりの配当金は、中間、期末ともに45円、年間配当90円となります）

配当および配当性向の推移



Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

４．平成30年3月期　決算　（地方創生）

明日の夢 人から人へ 宮崎銀行

宮崎大学ビジネスプランコンテスト

大学内の研究成果やアイデアをビジネスにする企画

大学内の研究成果やアイデア → 当行行員のサポートにより、アイデアを具体化 → 優秀案には「みやぎん宮崎大学夢応援ファンド」を活用し、ビジネスプランを事業化

農業法人「夢逢いファーム」の設置

宮崎県産農産物の栽培のノウハウ取得と事業確立

アボカドのブランド化 → 農業従事者に事業を引き継ぐ / 他の作物栽培に挑戦 → 宮崎県産農産物の付加価値向上

IT･FinTechを駆使した業務効率化支援

ITを活用して、保育の質の向上を図り、安心安全な保育サービスを提供

保育事業従事者の抱える課題

- 保育の質を向上させたい
- 子どもを見る力を持った保育士を育てたい
- 保護者へ保育内容を分かりやすく説明したい

→ IT化 → 少人数でも高品質な保育サービスの提供が可能に！

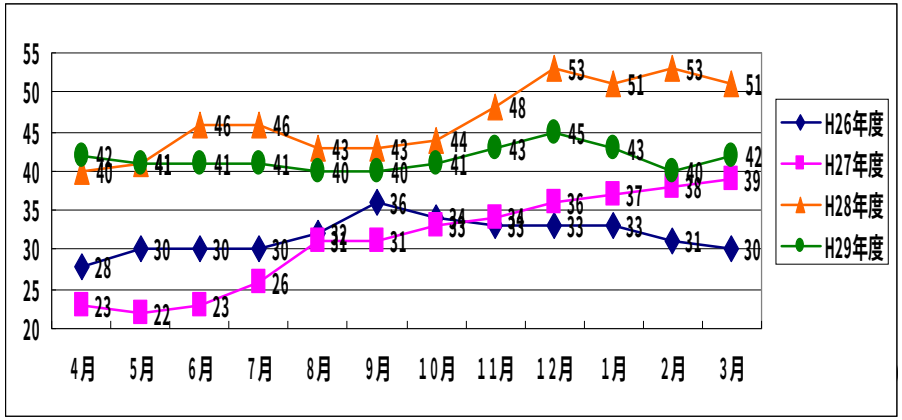
Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

４．平成30年3月期　決算　（女性活躍推進･働き方改革）

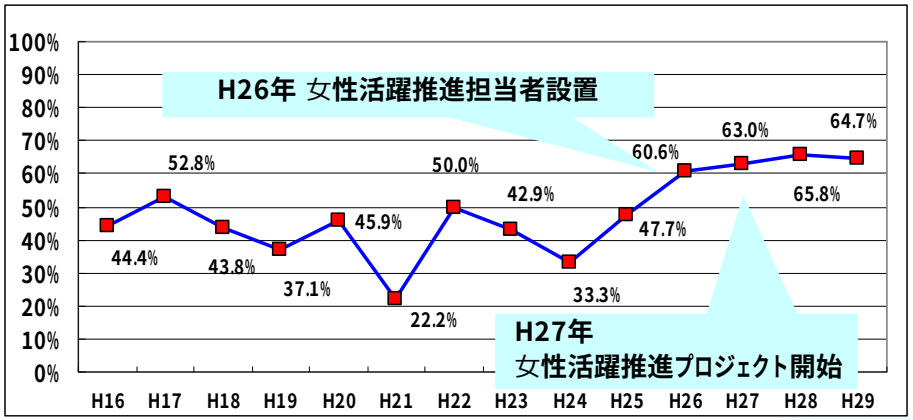
明日の夢 人から人へ 宮崎銀行

女性が活躍できる企業風土の構築

当行職員の月別産休･育休者推移



女性行員の結婚後継続勤務者割合



働き方改革への取り組み

「早帰り」への取り組み

パワーアップデイ･スーパーチューズデイ実施

平成29年3月まで		平成29年4月以降
退行時刻	→	退行時刻
制限なし		20：00まで

早帰りによる事務効率化を実施

禁煙支援

H29.4月より敷地内禁煙がスタート

平成28年7月		平成30年2月
喫煙率	→	喫煙率
４０．７％		３４．８％

従業員とお客様の受動喫煙防止

ワーク･ライフ･バランスの実現へ

Copyright © 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

５．平成31年3月期　業績予想

主要計数予想（増収･減益）

	平成31年3月期 業 績 予 想	平成30年3月期 実 績	増　減
経常収益	485億円	484億円	＋1億円
一般貸倒引当金繰入額	▲1億円	－ 億円	▲1億円
不良債権処理額	11億円	3億円	＋8億円
経常利益	120億円	133億円	▲13億円
当期純利益	85億円	94億円	▲9億円

Copyright Ⓒ 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包しております。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

Copyright Ⓒ 2018 Miyazaki Bank, Ltd. All Rights Reserved.